

## 第 15 回選定委員会議事概要

(第 26 回物質・生命科学実験施設利用委員会との合同開催)

- 1 日 時： 平成 29 年 2 月 8 日 (水) 15:00 ~ 17:00
- 2 場 所： AP 東京八重洲通り 13 階 13A+B 会議室
- 3 出席者：[委 員] 家泰弘 (委員長)、川端祐司、鬼柳善明、岸本浩通、柴山充弘、杉山純、中川敦史、常行真司、藤田全基、古坂道弘、峯村哲郎、山口敏男  
(出席者 12 名 (定足数 7 名) のため委員会は成立。)  
[一般財団法人総合科学研究機構 (以下、CROSS と略称)] 横溝英明、佐藤淳一  
[オブザーバー：文部科学省] 田畑さくら、鬼柳亮嗣、籠英晃  
[オブザーバー：物質・生命科学実験施設利用委員会] 金谷利治、瀬戸秀紀  
[オブザーバー：CROSS] 青木貞雄、宮崎司  
[事務局] 太田淳子、浅井利紀

(以上、敬称略)

### 4 議事次第：

#### 1. 開 会

- (1) 開会の挨拶 J-PARC センター センター長 齊藤 直人 (J&C)  
文部科学省量子研究推進室 田畑さくら 氏 (J&C)
- (2) 前回議事録の確認 (J, C)

#### 2. 審議事項 (J&C)

- (1) 2017A 期課題審査について
- (2) 2017B 期以降の募集課題について
  - i) 一般課題公募、審査について
  - ii) 長期課題公募、審査について
- (3) 専用ビームラインの最終評価、次期設置計画について
- (4) 中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会委員追加について

#### 3. 報告事項

- (1) 2017 年度施設枠課題について
  - i) JAEA 研究課題諮問委員会/CROSS 開発課題諮問委員会報告 (J&C)
  - ii) 中性子 PAC 報告 (J)
  - iii) ミュオン PAC 報告 (J)
- (2) MLF 報告 (J&C)

#### 4. その他・事務連絡・閉会 (J&C)

- (1) 次回の開催について
- (2) 閉会の挨拶 CROSS 東海センター長 横溝 英明

但し、選定委員会の議事は C、物質・生命科学実験施設利用委員会 (以下、MLF 施設利用委員会という。) の議事は J と記載した。

審議は両委員会で明確に分けて行われ、この議事録は上記議事次第に (C) 及び (J, C ; 同一議事題名だが分けて審議) (J&C ; 同一議事題名で合同での説明、意見交換) と記載した議事のみを対象としている。

### 5 配布資料リスト

資料 1-1 第 25 回物質・生命科学実験施設利用委員会議事録 (案)

資料 1-2	第 14 回選定委員会議事概要（案）
資料 2-1	2017A 期課題審査まとめ
資料 2-2-1	2017B 期一般課題公募・審査方針（案）
資料 2-2-2	2017B 期長期課題公募・審査方針（案）
資料 2-3	専用ビームラインの最終評価、次期設置計画について（案）
資料 2-4	中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会委員追加について（案）
資料 3-1-1	JAEA 研究課題諮問委員会/CROSS 開発課題諮問委員会報告
資料 3-1-2	中性子 PAC 報告
資料 3-1-3	ミュオン PAC 報告
資料 3-2	MLF 報告
別冊資料 1	2017A 期課題審査詳細
別冊資料 2	中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会報告
別冊資料 3	ミュオン課題審査部会報告
回収資料 1	審査結果一覧表
参考資料 2-1-1	中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会分科会 Minutes
参考資料 2-2-1	2017B 期一般課題公募要領（案）
参考資料 2-2-2	2017B 期長期課題公募要領
参考資料 2-3-1	専用ビームラインの評価体制について
参考資料 3-1-1	2017 年度 JAEA 装置グループ課題・CROSS 開発課題一覧表
参考資料 3-1-2	2017 年 1 月 12 日諮問委員会議事次第・諮問依頼書・回答書

## 6 議事概要

### 1. 開会

#### (1) 開会の挨拶

齊藤 J-PARC センター長が「MLF の改革を宣言してから 1 年たち、改革のエンジンができてきた。この委員会では、最重要な課題選定についてご意見を頂くことで成果最大化に向けて力をお借りしたい。」と開会の挨拶をした。

次に文部科学省量研室田畑氏より、「平成 29 年度は予算が初めて 100 億円と 3 桁を超えた。これは政府としての期待の現れであると同時に、社会に対する責任が益々増すということでもある。そのため、引き続きしっかりと成果創出に取り組んで欲しい。また MLF 改革については然るべきタイミングで報告して欲しい。さらに来年度には J-PARC の中間評価が予定されているので、着実に準備を進めて欲しい。」という挨拶があった。

#### (2) 前回議事録の確認 (J, C)

家委員長より第 14 回選定委員会議事概要（案）（資料 1-2）の確認の要請があった。

[結果]

第 14 回選定委員会議事概要（案）の記述内容についての質問や意見はなく、承認された。

### 2. 審議事項

#### (1) 2017A 期課題審査について

瀬戸 J-PARC MLF 副ディビジョン長が、資料 2-1、別冊資料 1 に従って 2017A 期課題審査の概要を、古坂利用研究課題審査委員会委員長が、回収資料 1、別冊資料 2 に従って審査結果と委員会

での議論の内容について説明した。共用 BL の一般課題（新利用者支援課題含む）は、全応募数 99 課題に対して 72 課題が採択（採択率は 73%）された。（中性子 BL の一般課題（新利用者支援課題含む）は、全応募数 223 件に対して 158 件が採択（採択率は 71%）された。）

[結果]

利用研究課題審査委員会審査結果は承認された。

(2) 2017B 期以降の募集課題について

瀬戸 J-PARC MLF 副ディビジョン長が、資料 2-2-1 に従って、2017B 期一般課題の公募、審査スケジュール案について説明した。さらに川北 J-PARC 中性子利用セクションサブリーダーが、資料 2-2-2 に従って、2017B 期から導入する長期課題について、すでに開始している課題公募についてと、今後の審査方針とスケジュール案について、説明した。

質問：長期課題の配分日数の割合を全体の 5%としているが、その枠内でもスコアが低ければ不採択となるのか？

回答（MLF）：もちろん不採択とする。

[結果]

2017B 期以降の課題公募、審査案は承認された。

(3) 専用ビームラインの最終評価、次期設置計画について

佐藤 CROSS 利用推進部長が、資料 2-3 に従って、専用ビームライン（BL03、BL20）の最終評価を行うことについての概要と、専用施設審査委員会の委員及び評価方法、スケジュール案について説明した。

質問：評価対象ビームラインの装置関係者がオブザーバーとして入っているが、よいのか？

回答（CROSS）：専用施設審査委員会委員及びオブザーバーを中性子実験装置部会委員と同一メンバーとしているため、入っている。関連装置の具体的な審査の際に退席することで問題ないと考えている。

回答（MLF）：委員は、専用施設審査委員会において専用施設の評価をするだけでなく、今後中性子実験装置部会において他の実験装置の中間評価を行うなど、MLF 全体の装置について審議する。当該委員の学識経験から、ぜひ委員として携わって頂く必要がある。

意見：「委員が関係する装置の審議の際には議論から外れる」とコメントを入れればよいのではないか。

[結果]

専用施設審査委員会委員、評価方法、スケジュール案は承認された。

(4) 中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会委員追加について

瀬戸 J-PARC MLF 副ディビジョン長が、資料 2-4 に従って、中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会委員の追加の提案について説明した。

[結果]

中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会委員追加は承認された。

### 3. 報告事項

(1) JAEA 研究課題諮問委員会/CROSS 開発課題諮問委員会報告 (J&C)

川北 J-PARC 中性子利用セクションサブリーダーが、資料 3-1-1 に従って、JAEA 研究課題諮問委員会/CROSS 開発課題諮問委員会の合同委員会における議事内容について報告した。その中で特に施設枠課題の配分日数が選定委員会で認めて頂いている割合を超える装置について、その事情と諮問委員会の回答を報告し、選定委員会の理解を得た。

## (2) MLF 報告 (J&C)

金谷 MLF ディビジョン長が資料 3-2 に従って MLF の現状について報告した。

意見：2017A 期の審査結果を見ると、国際化が進んでいるようである。今後、国別の申請、採択課題情報があるとよいのではないか。

質問：1 年前の委員会で、「ユーザー利用システムにおいて JAEA と KEK の壁があるためユーザーが利用しにくい状態になっており、それを数年計画で改善している」と言及されたが、この壁はなくなったのか？

回答：予算、マンパワー等の事情でシステム全体を作り直すことができないため現状のシステムを利用し利便性を高める改善をしており、あと 1 年ぐらいかかる予定。しかし、JAEA と KEK のセキュリティポリシーの違いがネックとなって、どうしても壁は残る。

意見：国際化が進んでいるが、日本の国費と人件費を使って作った施設であるので、成果占有利用については日本に税金を払っている、いないで利用料金に差をつけるべきではないか？

回答：利用料金は文部科学省が決めているので、相談する。

## 4. その他・事務連絡・閉会 (J&C)

### (1) 次回の開催について

現在の委員の任期は今年度で終了するが、多くの委員に再任を依頼することを検討している。次期は任期開始時の委員会の開催はしない予定で、次回の開催は 8 月ごろとなる。

### (3) 閉会の挨拶

横溝 CROSS 東海センター長が、「J-PARC MLF の改革はこれからが本番となる。また来年度予算が増額されたとのことから、成果を着実に出さなければいけないという責任を感じている。委員の方々は今回で今の任期が終了する。今までの 2 年間大変お世話になったことに感謝するとともに、再任を依頼した際には引き続きよろしくお願ひしたい。」と閉会の挨拶をした。